



RIテーマ

会報



クラブ 会長テーマ

『家と万事成』『利他の心』で親睦と奉仕に自ら率先しよう

2006-12-13 第772回例会 NO.17-23 2006-12-20 発行

◎司会 SAA委員会 城 正太

◎点鐘 会長 関岡 俊二

◎ロータリーソング『奉仕の理想』

ソングリーダー 菊池 敏

◎お客様紹介 会長 関岡 俊二

東京みなとRC 高田 和雄 様

会務報告 会長 関岡 俊二

・11月22日に行われました東グループゴルフコンペの成績と収支報告が届いております。藤本会員がベスグロと個人3位に入賞しました。

・12月6日移動例会「障がい者テニススクール」への皆様のご協力に感謝いたします。

・RI各種表彰につき、推薦および申請に関する案内がきております。

・事務所にひかり通信を入れる予定でしたが建物の構造上無理とのことで取りやめとなりました。

・昨日第5回東グループ協議会が行われ会長、幹事、海野国際奉仕委員長が出席してまいりました。

・青少年交換プログラムにおいて受け入れ家庭、費用、学生の資質等問題点が多く、このプログラムへの提案があれば1月15日の会長、幹事会へ出したいのでご連絡ください。

・2007～2008年度ガバナー補佐に赤尾恭雄会員、グループ幹事に遠藤二郎会員が正式に決定いたしました。

・ロータリーインターナショナルマスターカードの入会キャンペーンを行っています。

・1月9日多摩東グループ協議会に会長、幹事、澄川米山奨学委員長が出席予定です。

・本日の定例理事会においてクリスマス例会修正予算案が親睦活動委員会から提出されこれを承認いたしました。

❖生奥和尚の3分間法話❖

名利共休(みょうりともいきゅうす)

◎幹事報告 幹事 萩生田政由

・2月22/23日の地区大会登録ありがとうございました。来週の例会にて登録料を事務局まで。

・回覧：多摩市障がい者美術作品展ポスター

・配布：ロタキッドクリスマスコンサート役割分担表とパンフレット/地区より北朝鮮による拉致被害者家族連絡会支援のための募金のお願い/防犯パトロールの地図/第770回、771回会報/ガバナー月信12月号

・他クラブ例会変更：東京多摩RC

【委員会報告】

◎出席報告 出席委員会 篠崎 一雄

会員総数	37名
出席義務者数	36名(出席免除者2名)
出席者数	26名
欠席者数	9名(事前MU0名)
出席率	75%
補填MU	なし

11/29 最終訂正出席率 72.22%

◎ニコニコBOX 親睦活動委員会 伊藤 英也

関岡 俊二 本日例会後、防犯パトロールを行います。ご協力よろしく。

萩生田政由 赤尾様、何度も卓話をお願いして誠に申し訳ありません。宜しくお願い致します。

宮村 宏 障がい者テニスご協力ありがとうございました。

菊池 敏 新役員の皆様のお披露目おめでとうございます。

杉野志保子 誕生祝、ありがとうございました。

津守 弘範 いよいよ年も迫ってまいりましたね。

澄川 昇 クリスマス楽しみにしてます。

藤原 正範 寒くなりました。体調に気をつけてくださいネ。よいクリスマスを迎えるために・・・

大松 誠二 来週、いよいよ最終例会でXマスです。大いに楽しみましょう。

海野 榮一 寒いのやら・暖かいのやら・・・ 伊澤ケイ子 なんとなく気ぜわしい気分ですネ。

河本 昇 宮村障がいテニススクールご苦勞様でした。

赤尾 恭雄 障がい者テニススクールの成功を祈って。

伊藤 英也 新役員の皆様、ご苦勞様です。

本日の合計¥26,000 (累計¥502,699)

◎その他委員会報告

*「北朝鮮による拉致被害者家族連絡会」支援の為の募金のお願い 社会奉仕委員長 田中 實

11月24日のガバナー会の席上、北朝鮮による拉致被害者家族連絡会への支援が決定されました。当クラブも賛同し皆様へ募金をお願いすることとなりました。よろしくお祈いします。

*特別事業「ロタキッドクリスマスコンサート」

委員長 宮本 誠

16日のコンサートには奥様、お孫さんをはじめご家族、お知り合いの方々のご参加を是非お願いいたします。聴衆が少ないと子供たちががっかりしますので・・・

役割分担表を再度お配りしましたが名前が入っていないという奇特なお申し出を津守会員から頂きました。お名前の入っていない方々には聴衆という一番大事な役割がありますのでよろしくお祈いします。打ち上げのクリスマスパーティには多数のロータリアンの参加をお願いいたします。



「12月16日(土)大勢のお客様、ロータリアンに爽やかな歌声を披露しました。」

●年次総会

会長 関岡 俊二

会長エレクト 村上 久、

会長ノミニ候補 伊澤ケイ子、

副会長候補 加藤喜三郎、会計候補 内田 亘、

幹事候補 海野 榮一、

理事候補 関岡 俊二、理事候補 篠崎 一雄、

理事候補 河本 昇、理事候補 澄川 昇、

理事候補 大松 誠二

ご承認ありがとうございました。次年度よろしくお祈いいたします。

◎卓話「職業奉仕・CLPに関して」 赤尾 恭雄会員



「今、ロータリーの職業奉仕は安楽死しつつある。ロータリーは、CLPの導入によって

ロータリー財団を中心とする国債事前団体に転生しようとしている。」これは第2580地区パスとガバナー佐藤千尋氏の言葉である。確かに現在のロータリーにおいて職業奉仕の理念が会員の意識の中で希薄になっていることは事実として認めざるを得ない。しかしながら、職業奉仕はロータリ基本理念であり、職業奉仕なくしてロータリーの存立はあり得ない。佐藤氏のいうように職業奉仕が安楽死しつつあるかは定かではないが、少なくとも会員の認識にかけりがあることは事実である。

ロータリーの標語「超我の奉仕」はそもそも職業奉仕の理念であり、それは自己研鑽の奉仕を意味するものである。従って、職業奉仕の基本は会員個人の責務によって成立する倫理観であり、ロータリーの究極である「人づくり」の理念である。

最近、ロータリアンによる不祥事が相次ぎマスコミにより報道されていることはロータリアンの資質の低下を示す以外の何ものでもない。過去、単発的にこの種の報道があったことは認められるが、今回ほど集中して不祥事が続発したことは記憶にない。正に、職業奉仕の理念がロータリアン個人個人の意識から離れつつあることの証左ではないか。

特に、効果的なクラブを目指すCLP導入はWe Serve強化策であり、それなりに意義は認められるがI Serveの軽視または無視を招くようであれば、ロータリーはそのステータスを失い他の奉仕団体となら変わらないことになる。ロータリーはI Serveによる「人づくり」「自分づくり」の人格形成が原点であり、それでこそCLP導入によるWe Serveの強化策が社会的な信頼に足る成果を期待できるものとなる。

ロータリーは決して職業奉仕を安楽死させてはならない。ロータリアンは職業奉仕の個人の責務を固く認識し、ロータリーのステータスを守らなければならない。

◎お礼と点鐘

会長 関岡 俊二

(今週の担当 杉野志保子)